



F ★ ★ ★ ★

エポキシ樹脂耐久床用塗材

フローンエポモル

重量物を置く床、フォークリフトなどが走る床
ハードな耐久性、耐水性、耐薬品性を
要求される床のために開発した
厳しい条件に耐える、耐久床塗材です。



■**特長** 超耐久床塗材。いわば「樹脂で作った石」の床です。

**耐久性****耐衝撃性****耐摩耗性****耐蝕性****作業性**

■用途

1. 耐久性、耐水性、耐薬品性を要求される工場、倉庫の床。
2. フォークリフト、車両などが通行する床、重量物を置く床。

■製品仕様

●容量・配合比

品 名	容 量			配合比(重量比)	
	A液	B液	セット	A液	B液
フローンエポモル	16kg	4kg	20kg	4	1
	8kg	2kg	10kg		

●塗装面積

塗 装 面 積	10㎡分	20㎡分
フローンエポモル	10kgセット	20kgセット
フローン珪砂5号	30kg(15kg×2袋)	60kg(15kg×4袋)
フローン珪砂6号	30kg(15kg×2袋)	60kg(15kg×4袋)

※モルタル5mm厚工法の場合、フローンエポモル：フローン珪砂(5号：6号＝1：1)＝1：6

●性状

試験項目	試験結果	試験条件
外 観	A液 透明粘稠液 B液 透明粘稠液	
粘 度	400mPa・s	B型粘度計、23℃
歩行可能時間	24時間	23℃
可 使 時 間	40分	23℃

※試験結果は、弊社における試験に基づくもので、保証値ではありません。

●一般物性(モルタル5mm厚工法)

試験項目	試験結果	試験条件
圧 縮 強 さ	150N/mm ²	JS K 6911
曲 げ 強 さ	113N/mm ²	JS K 6911
摩 耗 質 量	64mg	JS K 7204 テーバー式摩耗試験機
アイゾット衝撃強さ	1.9J/m	JS K 6911
引張接着強さ	3.5N/mm ²	JS A 5536 コンクリート、建研式

●耐薬品性・耐油性

試験項目	結果	試験条件	試験項目	結果	試験条件
耐 水 性	◎	水道水、1ヵ月浸漬	耐アルカリ性	◎	10%苛性ソーダ、スポット試験48時間
耐塩水性	◎	20%塩水、スポット試験48時間		◎	10%アンモニア、スポット試験48時間
耐溶剤性	◎	トルエン、スポット試験48時間	耐生活活性	◎	飽和砂糖水、スポット試験48時間
	◎	キシレン、スポット試験48時間		◎	醤油、スポット試験48時間
	◎	エタノール、スポット試験48時間		◎	ソース、スポット試験48時間
耐 酸 性	◎	10%塩酸、スポット試験48時間	耐 油 性	◎	サラダ油、スポット試験48時間
	◎	10%硫酸、スポット試験48時間		◎	灯油、スポット試験48時間
	◎	10%硝酸、スポット試験48時間		◎	エンジンオイル、スポット試験48時間
	◎	10%酢酸、スポット試験48時間		◎	切削油、スポット試験48時間

※判定 ◎＝異常なし ※スポット試験は、JS A 5705に準拠

**東日本塗料**

標準工法

工 法 名		工程	材 料 名	使用量 kg/m ²	上塗可能時間 (23℃)	備 考
モルタル工法 ※1	5mm厚 	1	フロートプライマー-H	0.15	2～24	A液・B液=1:1 (重量比) の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラーにて塗布。
		2	フロートプライマー-H フロートパウダー	0.15 0.15	2～24	A液・B液=1:1 (重量比) の割合で計量、電動攪拌機で攪拌したフロートプライマー-Hを1に対し、フロートパウダー1 (重量比) の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラーにて塗布。
		3	フロートエポモル	0.3	直後	A液・B液=4:1 (重量比) の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラー又は、金ごてにて塗布。
		4	フロートエポモル ソルエポシンナー フロート珪砂5号 フロート珪砂6号	1.0 0.1 3.0 3.0	24時間以上 (軽歩行開放時間)	A液・B液=4:1 (重量比) の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌したフロートエポモル1に対し、フロート珪砂5号3、フロート珪砂6号3 (重量比) の割合で計量、ソルエポシンナーにて10%希釈し、混合、電動攪拌機で攪拌後、金ごてにて均一に塗布。
防 滑 工 法	6mm厚 	1	フロートプライマー-H	0.15	2～24	A液・B液=1:1 (重量比) の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラーにて塗布。
		2	フロートプライマー-H フロートパウダー	0.15 0.15	2～24	A液・B液=1:1 (重量比) の割合で計量、電動攪拌機で攪拌したフロートプライマー-Hを1に対し、フロートパウダー1 (重量比) の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラーにて塗布。
		3	フロートエポモル	0.3	直後	A液・B液=4:1 (重量比) の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラー又は、金ごてにて塗布。
		4	フロートエポモル ソルエポシンナー フロート珪砂5号 フロート珪砂6号	1.0 0.1 3.0 3.0	12～24	A液・B液=4:1 (重量比) の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌した、フロートエポモル1に対し、フロート珪砂5号3、フロート珪砂6号3、(重量比) の割合で計量、ソルエポシンナーにて10%希釈し、混合、電動攪拌機で攪拌後、金ごてにて均一に塗布。
		5	フロートエポモル ケミベスト FD-380	0.5 0.015	12～24	A液・B液=4:1 (重量比) の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌したフロートエポモル1に対し、ケミベストFD-380を3% (重量比) の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、金ごてにて塗布。
		6	フロート50	0.6	直後	A液・B液=5:1 (重量比) の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、金ごてにて塗布。
		7	フロート珪砂5号(追吹付)	1.8	12～48	工程6の直後、リシガン(口径3～4mmφ)にてフロート珪砂5号を散布。
		8	フロート50	0.8	24時間以上 (軽歩行開放時間)	A液・B液=5:1 (重量比) の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラーにて塗布。

※1 モルタル仕上げの場合、食品カスやゴミが侵入し雑菌等が繁殖する恐れがあります。衛生を考慮する場合、この工法の採用は、避けて下さい。

ご注意

■施工上のご注意

- 下地の砂、ゴミ、ホコリ、油等を完全に取り除き、下地との付着を高めるため、事前にポリッシャー・サンダー・研削機にて下地調整を必ず行って下さい。また、新設コンクリート・モルタル面の表面には、レイタンス(遊離アルカリ)による脆弱層が形成されるため、密着不良の原因となります。必ずワイヤー付きポリッシャー等でレイタンス層を完全に除去して下さい。また、刷毛引き仕上げコンクリート面に施工する際は、当社までお問合せ下さい。強度が低いモルタル・セメント系下地調整材は、破壊される事により剥離する場合がありますので使用しないで下さい。
- コンクリート・モルタルの養生不足は、水分の影響によりフクレ、硬化不良を、また、アルカリの影響により密着不良が発生する恐れがあります。コンクリート・モルタルは打設後、常温乾燥後夏期3週間以上、冬期4週間以上の期間が必要です。目安として、含水率が高周波水分計ケット社製HI-520・HI-520-2で測定し、コンクリートレンジの表示値が5%以下かつpH9.5以下になってから施工して下さい。また、降雨直後下地が水分を含んでいる場合は、2日以上乾燥させて下さい。
- フロートエポモルは、2液反応硬化型ですから、可使用時間に制限があります。施工時の温度、施工面積、作業人員等を考慮して、無駄の無いように材料を配合して下さい。
- タイヤ等のゴム製品が長時間接触していると、塗膜の汚染が生じる場合があります。
- ご使用になる環境を十分に考慮して、適正な材料と施工法を決定して下さい。
- 床暖房やロードヒーティング床面には塗装しないで下さい。剥離や雪解けが悪くなるなどの不具合が生じる場合があります。
- 気温5℃以下、湿度80%以上では施工しないで下さい。
硬化時間、硬化後の性能は、施工時の温度に大きく影響されます。

10℃以下 硬化後退 (カブリ、しわ、軟化発生)	15℃～25℃ 最適	30℃以上 硬化促進 (ポットライフ短縮)
--------------------------------	---------------	-----------------------------

- 常時、水を使用される部位については、あらかじめ下地モルタル等に水勾配をつけて下さい。
- 施工時には、引火、爆発、中毒等の事故防止のため、十分な換気をし、有機ガス用防毒マスク、保護メガネ・手袋等、保護具を着用して下さい。発火原因となる電気溶接、ガス溶断との並行作業を避けて下さい。
- 直接皮膚に触れないように充分にご注意下さい。もし触れた場合は、ウエス等で十分に拭き取り中性洗剤で洗って下さい。
11. 材料の保管、取り扱いについては、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき、十分な管理をお願いします。
12. 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時および施工後の換気を充分に行って下さい。
13. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときは産業廃棄物として処理して下さい。

■メンテナンス

- 汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してモップで水洗いし、水洗い後は、充分乾燥させて下さい。滑り止め仕上げの場合も同様ですが、モップよりデッキブラシを使用したほうが効果があります。
- アルカリ、酸等、薬品が床にこぼれた場合は、直ちに水洗いを行い、調味料、油等の場合は、モップで拭き取って下さい。
- 万一、床に損傷が生じた場合は、その部分だけの補修が可能です。

引火性あり	警 告	有害性あり	感作性あり
	1.可燃性の液体である。 2.健康に有害な物質を含有している。 3.皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがある。 4.蒸気を吸入すると人により喘息様症状を起こすことがある。		
業 務 用 ＜注意事項＞1.通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、また、重い健康障害を起こす恐れがありますので、取扱いについては、 容器に表示された注意事項を守って下さい。 2.アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取扱いを避けて下さい。(呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。) ※詳細な内容が必要な場合には、安全データシート (SDS) をご参照ください。 ※SDSは弊社HPにて閲覧、ダウンロードしていただけます。トップページから製品情報のページにアクセスし、各種SDS一覧をご参照ください。			

●お問い合わせは.....

100%
菜種油100%使用

※製品改良のため、予告なく仕様、性能、カタログ内容を変更する場合があります。
※諸官公庁等の特記仕様がある場合には、それを最優先して下さい。
※このカタログは植物油インキを使用し、環境保全や大気汚染の低減に貢献しています。
※本書に収録したものの一部または全部の無断複製、転載を禁じます。

本 社 / 〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306
埼 玉 工 場 / 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518
仙台営業所 / 〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320
新潟営業所 / 〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730
静岡営業所 / 〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063